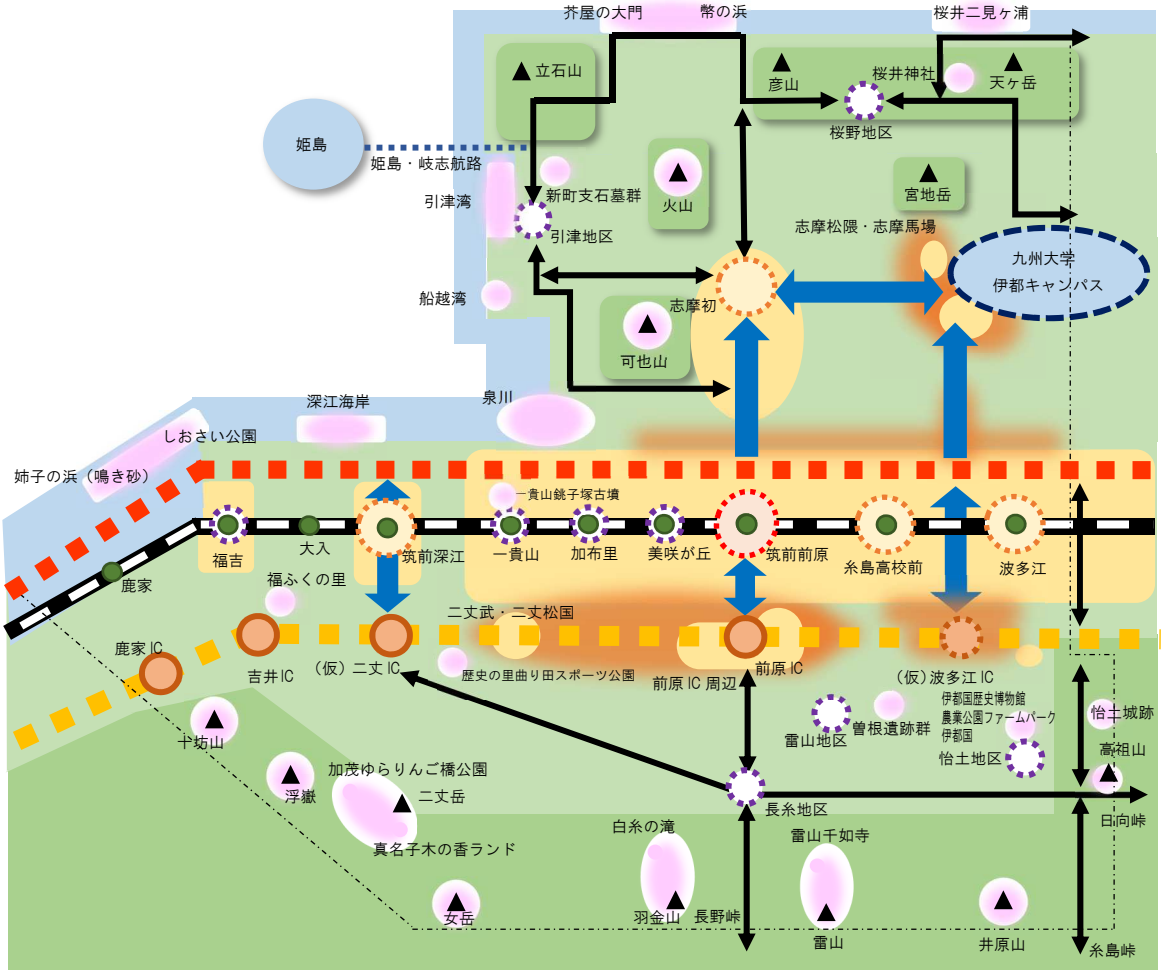
変更前　　中間答申（令和２年２月１３日現在）

将来都市構造図



【土地利用及び拠点ゾーン】

- 広域拠点
- 地区拠点
- 都市的整備ゾーン
- 都市的誘導ゾーン
- 学術拠点（九州大学　伊都キャンパス）
- 生活拠点
- 農業・農村振興ゾーン
- 森林保全ゾーン
- 玄界灘海岸ゾーン
- 観光・レク・交流ゾーン

【連携軸】

- 広域連携軸一般国道 202 号
- 広域連携軸一般国道 202 号バイパス・西九州自動車道
- インターチェンジ（構想）
- 拠点連携軸
- 地域ネットワーク道路

※基本構想・基本計画の検討を進めていく中で、将来都市構造図は変更になる場合があります。

○広域拠点：高次な都市機能が集積し、都市の顔となる場であり、都市生活の利便性を高める拠点
○地区拠点：広域拠点を補完し、生活や仕事などのさまざまなサービスを提供する拠点
○生活拠点：日常生活に必要な機能が集積し、生活圏の生活利便性を高める拠点
■都市的整備ゾーン：都市機能を集積し、利便性とにぎわいを創出するゾーンで、農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な生活環境と都市活動の確保を目指す。
■都市的誘導ゾーン：土地区画整理事業を活用した市街地整備や、地区計画制度などの活用により、社会基盤の有効活用を図りながら、新たな居住空間や企業、研究所、レクリエーション施設などの誘導を図る。
■農業・農村振興ゾーン：農業振興地域農用地区域を中心としたゾーンで、優良農地と田園風景の保全に努めながら、農業基盤の維持と強化を図る。
■森林保全ゾーン：脊振雷山県立自然公園及びその周辺の森林や糸島半島の内陸部にある森林からなるゾーンで、林産物の供給をはじめ、河川や海の水質保全、水源のかん養、良好な景観の維持、災害の防止、地球温暖化の防止など、森林が有する多面的な機能の維持を図る。
■玄界灘海岸ゾーン：玄海国定公園に指定された地域とその周辺からなるゾーンで、風光明確な景観や自然環境を保全しつつ、それらと調和した水産資源の適切な保存・育成・管理と、水産物の安定供給を図る。
■観光レク・交流ゾーン：美しい海岸や森林、のどかな田園、農山漁村集落、貴重な史跡など、観光・交流を目的に人々が集うゾーンで、より魅力的で回遊性のあるゾーンを目指す。